

三浦真珠復活プロジェクト ～プロローグ～

突然ですが、三浦半島で真珠の研究が行われていたことをご存知でしょうか？今から 125 年前、三浦市にある東京大学三崎臨海実験所が御木本幸吉氏とともに研究を始め、その結果「世界初の真珠養殖技術」の基礎が築かれたのです。御木本氏といえば、御木本真珠店（現・ミキモト）の創業者で、真珠王とも呼ばれた方です。三浦でも真珠養殖が行われていましたが、残念ながら次第に衰退してしまいました・・・しかし御木本氏生誕 150 周年を機に、東大三崎臨海実験所が総合的海洋教育教材として真珠養殖の再開を提案し、今日「三浦真珠復活プロジェクト」として動き始めたのです。

三浦真珠の復活には、真珠をつくるアコヤガイの母貝がたくさん必要です。そこで東大三崎臨海実験所と連携している本校では、平成 26 年よりアコヤガイの種苗生産を開始し、種苗生産の一時期（幼生期～稚貝）に携わっています。そして今年からは、母貝の管理のお手伝いも実習の中で行うことになりました。実習内容や様子については、後日ご報告します！！

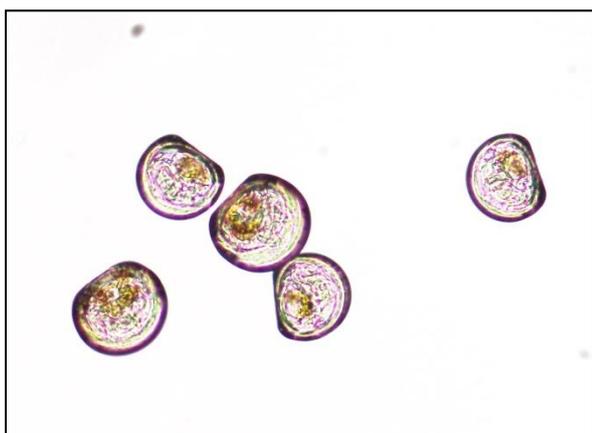


写真 1. 本校で種苗生産したアコヤガイの幼生



写真 2. 種苗生産から 2～3 年後のアコヤガイ

- ・今年 3 月末に撮影。
- ・海に浮かべた筏の中で立派に成長していました。